

第1回上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員意見要旨

No.	意見要旨
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ あおもりアートぐれっとパス事業を来年度以降も実施したいと考えている。 ・ 25年度から、小坂町の康楽館と現代美術館の観光面での連携について検討していきたい。また、更に進んだ場合には、3館連携にも加えて、広く連携を図りたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 康楽館、十和田湖、奥入瀬溪流、十和田市現代美術館、三沢市航空科学館、寺山修司記念館等を線で繋がれると良い。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥入瀬、十和田湖の魅力は、奇跡的な自然の成り立ちにある。子どもや大人に、その生態の素晴らしさを学んでいただけるような、圏域の共通の教育プログラムを作ってみてはどうか。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像の基本認識に、雇用について明確に謳った方が良い。 ・ 生活機能の確保については、ある程度確保されているものと思われるため、今あるものを維持・確保していくとした方が良い。 ・ 再生可能エネルギー関連の取組を記載できると良い。 ・ 医療の課題として、公共交通の確保も挙げられ今後見直されていくべき。そういうことも含めて議論していただきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療に係る交通機関に関しては、各市町村間で検討していただけるとありがたい。今回は、共通の話題として持ち帰り、検討していただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域市町村間で負担し合いながら、特別支援学校高等部の送迎をできないか。 ・ 圏域にファンドを作り、第6次産業を推進できるような何かがあると良い。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内に福祉タクシーのようなものがあると良い。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥入瀬川の文化的な面、地域風土性等も含めて、具体的に子供たちの教育にどのように活かしていくか再考する必要がある。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育の中で、この地域の子供たちに定住自立圏の必要性を説くことで、この地域の共生がよりスムーズになる可能性が高くなるものと考えられる。今年度の事業、あるいは副読本の作成が必要ではないかと感じる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10数年前から各市町村の文化協会が一緒になって展覧会を開いていた。参加者の高齢化が進み、実施が困難となり取り止めている。機会があれば復活させたい。 ・ 20年前に京都へ行った際に、高級食材として出された長芋が、上北郡六戸町産の長芋であった。この地域の長芋がまだまだ日本一であると思うが、少し頭に入れておきたい。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八戸以北の新幹線開業辺りから県内全域でPR等を協議している。我々の立場からすると、県抜きで市町村単位の話をもとめるのは少し難しい。観光ルートの再構築等がこれからの課題であるが、私個人としても尽力していきたい。

12	<ul style="list-style-type: none"> 将来像で、裂織というビジョンに至った経緯を子供でも分かるようなキーワードで書いてみると、様々な組織、人々がそれを見たときに1つの方向性を示せるかと思う。
13	<ul style="list-style-type: none"> 圏域が1つになって、企業誘致することができないか。雇用には絶対に結びつき、景気にも結び付くものと思っている。 まちづくりという昔の華やかさがなくなっている。10市町村が集まり、例えば月1回、2カ月に1回でも、情報交換、産直等を行い、徐々に広げていくことはできないか。 誘致企業ができない場合には、この圏域の沢山の良い食材等を加工できる建物をどこかに作り、雇用を創出してはどうか。
14	<ul style="list-style-type: none"> 先般の23年3月11日の震災に関連して、その1年半後に市全体で避難訓練を実施したが、参加者が少なかった。それは高齢化が進み参加したくても避難経路、避難場所が非常に遠いことが1つあると思う。歩いて避難できる人もあれば、車で避難しなさいと言われており、避難経路、避難道路の確保も必要ではないかと思う。 住民に対する啓発活動も必要であり、積極的に推進してもらえればと考える。
15	<ul style="list-style-type: none"> 東北新幹線七戸十和田駅は、乗降客は非常に多い。駐車場が足りない位という状況であるが、乗降客が実際にこの地域に貢献しているのかについては疑問を持っている。 先般、商工会でチラシを作り、乗降客に対して手配りでお土産品の販売しようとしたが、中々思うようなPRになっていないという現状であった。今後、事業として、もっと広域的に進めていって、地域の特産品をどんどん観光に来る方、出張で来る方にお土産品で買ってもらえる事業に推進していきたいと考えている。
16	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化、過疎化が進んでいる中で、これからの対策事業として、例えば主婦に対する支援とか、具体的にはまだはっきりしないが、そのような事業も必要ではないかと思う。

委員の皆様からいただいたご意見につきましては、ビジョンの取組をより良いものとしていくための重要な視点として活用してまいりたいと考えております。

また、ご提案につきましては、「ビジョン懇談会 議論の視点」に基づき、今後、実現可能性を圏域内で協議し、研究・検討を行ってまいります。